

特定非営利活動法人ジェネリック医薬品協議会

2022（令和4）年度 通常総会 議案書

日時 2022 年 6 月 1 日（水）13 時 00 分～14 時 00 分
会場 学士会館 203 号室 （東京都千代田区神田錦町 3-28 電話 03-3292-5936）
次第

1. 開会あいさつ
2. 議長選出
3. 成立状況の確認
4. 議事録署名人の選任
5. 議案審議
 - 議案 1 2021 年度事業報告・決算・監査報告
 - 議案 2 2022 年度事業計画・予算
 - 議案 3 役員の選任方法について
 - 議案 4 監事の補充選任
 - 議案 5 次年度総会開催日
6. 閉会あいさつ

【別紙一覧】

1. 2021 年度決算関連
 - 1-1 活動計算書
 - 1-2 貸借対照表
 - 1-3 財産目録
 - 1-4 予算実績対比表
 - 1-5 監査報告書
2. 2022 年度予算（案）
3. 役員選任細則（案）

1. 開会あいさつ

渡邊善照理事長より。

2. 議長選出

議場にて立候補または推薦を受けて正会員から選出する。

3. 成立状況の確認

正会員総数の2分の1以上の出席で成立する。書面等での表決、または他の正会員に代理を委任した正会員も出席とみなされる。

4. 議事録署名人の選任

議場にて立候補または推薦を受けて選任する。

5. 議案審議

議案 1 2021 年度事業報告・決算・監査報告

1. 会員

(1) 会員数

	正会員（個人）	賛助会員
2021 年度期首	19	8
2021 年度入会	5	1
2021 年度退会	2	1
<u>2022 年度中退会</u>	<u>1</u>	<u>0</u>
2022 年 4 月 24 日現在	21	8

正会員は、あらたに 5 名が入会し 24 名になったが、そのうち 2 名が 2021 年度末、会員歴の長い理事 1 名が 2022 年度期中に退会し 21 名になった（2022 年 4 月 24 日現在）。

賛助会員は、小林化工の退会、ニプロの再入会により期首と期末で同じ 8 社であった。

(2) 会費納入状況

未納なし

2. 事業報告

(1) 全体

1) 会議開催

- 通常総会 2021 年 5 月 20 日 ※Zoom によるオンライン会議
- 執行理事会 定例：7 回，臨時：1 回 ※すべて Zoom 会議

2) ジェネリック医薬品の動向と GEDA

2021 年度のジェネリック医薬品市場は、前年の医薬品への信頼を揺るがす深刻な事案が、供給面での混乱も招くという由々しき事態が続いた。医療現場からは、必要な製品が確保できないという窮状が訴えられた。そうした中、GEDA は組織の再活性化に向けて中・長期的視点で、会員だけでなく外部関係者とも共有できる活動の課題を設定することと、組織と運営の改善を進めることを目指してきた。

（２） 活動課題

2021 年度は以下の 5 つの課題を設定し、それぞれに対応した委員会を前年度までの委員会を改組するなどして、全理事の参加を得て立ちあげることとした。

- ① 医薬品への信頼回復と、国民医療費抑制のためにジェネリック医薬品の価値向上および残薬問題に取り組み施策を検討し提言をまとめる。
- ② 国民のジェネリック医薬品に対する認知度が高まった一方で信頼は揺らいでいる。こうした現状を踏まえて新たな普及・啓発活動を展開する。
- ③ ジェネリック医薬品に直接関連するテーマに限らず、国民医療費の抑制方策・国民の健康増進等を検討している法人や団体等との連携および共同イベント等も検討する。
- ④ 会員拡大に目標を持って取り組む。従来からのジェネリック医薬品企業以外に、ユーザー側の団体等にも入会および理事就任を働きかける。
- ⑤ オンラインでの情報発信の方法を研究し、そのために環境を整備する。

（３） 主な活動

１） ジェネリック医薬品の日の取り組み

2021 年 12 月 22 日に記念シンポジウムを学士会館で開催し、GEDA 内外約 50 名の出席を得た。内容は GEDA 年報 2021 に掲載。

- テーマ：ジェネリック医薬品の課題対策と今後に向けて
— 医薬品の品質保証のありかたをめぐって —
- 後援：日本薬剤師会／日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会／
日本薬剤学会／セルフメディケーション推進協議会
- プログラム

<第一部：基調講演>

「医薬品を安全に使用するために ～ジェネリック医薬品の活用～」

佐々木研究所・杏雲堂病院 大谷道輝

<第二部：シンポジウム>

「ジェネリック医薬品の課題対策と今後に向けて ～医薬品の品質保証のありかたをめぐって～」 日本ジェネリック製薬協会 薬制委員会委員長 寺島徹

「クオリティカルチャーとは？ ～製薬協 GMP 部会における取り組み～」

日本製薬工業協会 品質委員会 GMP 部会副部長 藤江宏

「ジェネリック医薬品 課題対策と今後に向けて」

日本薬剤師会 理事（東京都薬剤師会 会長） 永田泰造

「今、薬局で本当に困っている事」

ミツワ薬局 金子弘之

２） GEDA 年報 2020

2021 年 8 月に年報 2020 を発行した。

- 「ジェネリック医薬品の日」制定記念講演会の記録

- 会員投稿：3件

「ジェネリック医薬品の不適正評価と薬剤師」 GEDA 名誉理事長 永井恒司

「ジェネリックメーカーの不祥事」 GEDA 監事 山本典男

「ジェネリック医薬品（後発医薬品）とフォーミュラリー」 GEDA 理事長 渡邊善照

3) 意見表明

渡邊理事長の意見表明2件を、GEDA ホームページに掲載した。

- 「ジェネリック医薬品（後発医薬品）とフォーミュラリーについて」
- 「品質問題防止、査察強化だけでは不十分」(RISFAX の取材記事)

ホームページには、他に以下を掲載した。

- 「医療用医薬品最新品質情報集（ブルーブック）の活用を」
ブルーブックを紹介し、掲載サイトへのリンクバナーを張った。
- ジェネリック医薬品のアニメーション紹介（制作：日本賢人会議所）

4) 組織と運営の改善

GEDA の組織と運営の改善について、2021 年度通常総会では、「理事会がマンネリに陥ることなく組織の実状と会員のニーズに即対応していくために、その構成員の新陳代謝は重要である。そのために、理事・監事の選任及びその他の役員（理事長等）の選出方法、任期、資格要件（年齢など）などを見直す」こととなった。

これを受けて役員選出方法等検討委員会が下記の構成で設置され、対応が検討された。

委員長：園部尚理事

委員：澤井光郎理事（代理：國廣吉臣）

吉田逸郎理事（代理：白川敏雄）

太田進専務理事（事務局）

同委員会が作成した「役員選任細則」（案）を本総会で審議することとなった。（議案3）

（4）各委員会の活動

再編された各委員会に全理事（外部理事を除く）を割り当てたが、会合が開けず具体的な活動に着手できなかった。

① 施策提言委員会（委員長：戸島洋一執行理事）

1) ジェネリック医薬品の品質に対する信頼性の確保は、厚生労働省が進めるジェネリック医薬品の使用促進策の柱としております。2021 年度も「ジェネリック医薬品品質情報検討会（座長合田幸広 国立医薬品食品衛生研究所所長）」が 2021 年 9 月 15 日と 2022 年 2 月 16 日に開催され、会議に渡邊理事長が出席され意見具申を行った。

2) 2021 年度活動方針に掲げた、ジェネリック医薬品企業の法令順守状況調査は未実施であった。

3) 2021 年度に新たに施策提言委員会が発足したが、委員間の意思疎通が十分でなく活

動実績が伴わなかった。

② 普及啓発委員会（委員長：中田素生執行理事）

2021 年度、コロナ禍及びジェネリック医薬品メーカーの薬機法違反に基づく業務停止など国民への信頼失墜行為があり患者への啓発活動が制限されるなどがあり活動が出来なかった。

③ 外部連携・会員拡大委員会（委員長：渡邊善照理事長）

2021 年度、医薬品活動に係る他の関連団体との連携として、NPO 法人セルフメディケーション推進協議会との関係が進み、12 月 22 日の「ジェネリック医薬品の日」記念シンポジウムの後援を得た。開催当日、同協議会会長の村田正弘氏と役員の江戸清人氏、高橋千佳子氏が記念シンポジウムに参加し、今後の連携を確認した。

④ オンライン情報発信委員会

「ジェネリック医薬品の日」記念シンポジウムのライブ配信などを検討したが、技術的問題と反応等を検討した結果、見送ることとした。

3. 決算

【別紙参照】

- 1-1 活動計算書
- 1-2 貸借対照表
- 1-3 財産目録
- 1-4 予算実績対比表

コロナ禍の終息が見通せず、活動には様々な不確実性が伴い続けた。そのため予算執行も流動的にならざるを得なかった。将来的な財政難に備えた経費削減の取り組みは、引き続き求められていた。一方で、新入会の正会員から大口の寄付金をいただいたため、結果的には大幅な正味財産増となった。

総合計

総収益	3,650,038 円
総費用	1,481,982 円
当期正味財産増減額	2,168,056 円
前期繰越正味財産額	1,963,306 円
次期繰越正味財産額	4,131,362 円

収益

正会員会費	250,000 円
賛助会員会費	1,400,000 円
受取寄付金	2,000,000 円
雑収益	38 円
合計	3,650,038 円（予算 1,425,020 円）

費用

(1) 総額（事業と管理合計）

予算：	2,168,000 円
実績：	<u>1,466,872 円</u> （予算執行率 68%）
予実差	701,128 円（予算残）

(2) 事業

予算：	1,315,000 円
実績：	<u>814,508 円</u> （予算執行率 62%）
予実差	500,492 円（予算残）

【事業別内訳】

① ジェネリック医薬品の普及，およびその研究成果の啓蒙・宣伝・研修・振興等

予算：	1,030,000 円
実績：	<u>770,798 円</u> （予算執行率 75%）
予実差	259,202 円（予算残）

費目	予算：円	実績：円
旅費交通費	40,000	58,510
会議費	200,000	303,688
広報宣伝費	50,000	0
諸謝金	80,000	55,684
雑費	20,000	0
印刷製本費	500,000	299,901
通信運搬費	30,000	44,329
消耗品費	10,000	4,028

事務用品費		4,438
支払手数料		220
予備費	100,000	
合計	1,030,000	770,798

主な支出は、「ジェネリック医薬品の日」記念シンポジウム 2021 開催と年報発行。

- 会議費：「ジェネリック医薬品の日」記念シンポジウムの開催規模が大きくなった。
- 印刷製本費：年報 2 冊（2020 と 2021）を予定していたが、2021 が次年度に繰り越された。
- 広報宣伝費：ホームページの変更や広報ツールの作成は見送られた。

② ジェネリック医薬品に関する国・自治体・関係 諸機関への提言活動等

予算： 285,000 円

実績： 43,710 円（予算執行率 15%）

予実差 241,290 円（予算残）

費目	予算：円	実績：円
諸会費	5,000	
雑費	10,000	
旅費交通費	50,000	
会議費	20,000	
調査研究費	20,000	15,000
新聞図書費	50,000	28,600
消耗品費	10,000	
通信運搬費	10,000	
印刷製本費	10,000	
支払手数料		110
予備費	100,000	
合計	285,000	43,710

ジェネリック・バイオシミラー学会学術大会とレギュラトリーサイエンス学会シンポジウムに 1 名参加した。

(3) 管理

予算： 853,000 円

実績： 667,474 円（予算執行率 78%）

予実差 185,526 円（予算残）

費目	予算：円	実績：円
印刷製本費	30,000	22,635
消耗品費	10,000	19,780
地代家賃	480,000	480,000
通信運搬費	20,000	20,059
雑費	20,000	
旅費交通費	40,000	6,089
事務用品費	10,000	
会議費	80,000	17,971
広報宣伝費	60,000	93,741
交際接待費	0	6,264
支払手数料	3,000	935
予備費	100,000	
合計	853,000	667,474

- 会議費：Zoom による執行理事会のみだった。
- 広報宣伝費：ホームページ運用関連費用を 2 年分支払った。

4. 監査報告

【別紙参照】

1-5 監査報告書

議案 2 2022 年度事業計画・予算

1. 会員数（2022 年 4 月 24 日現在）

正会員（個人）	賛助会員
21	8

2. 事業計画

（1）全体

1）会議開催

原則集合開催とし、必要に応じて Zoom、メールを活用する。

- ・ 通常総会 2022 年 6 月 1 日
- ・ 執行理事会 5～6 回開催
- ・ 各委員会 委員会で決定

（2）活動の基本方針

GEDA は、2007 年に設立以来、「ジェネリック医薬品への正しい理解とジェネリック医薬品に期待される役割を広く啓発し、もってジェネリック医薬品代替調剤への転換と普及を可及的速やかに実現する」ための事業を目的として活動し、成果をあげてきた。GEDA の発足時はジェネリック医薬品に対する国民等の理解が必ずしも十分ではなく、GEDA の事業目的は理に適うものであり、我々のこれまでの活動はジェネリック医薬品普及促進に一定の役割を演じてきていると考えられる。

GEDA の活動開始後十数年を経過し、ジェネリック医薬品の使用割合も国が目標とした 80%に到達した。また、ジェネリック医薬品を製造する企業及び団体、医師、薬剤師などの多岐にわたる活動により、ジェネリック医薬品に対する使用者側（国民および医療従事者）の理解が深まってきている。しかしながら、昨今、一部のジェネリック医薬品製薬企業の不祥事により、品質問題や安定供給の問題が社会的に浮き彫りになり、現在も多くの課題が残されていることも事実である。

ジェネリック医薬品の係る諸課題については、国、地方公共団体などの活動や各種学術団体等で取り上げられて検討が行われてきており、このような諸般の状況に鑑み、GEDA の今後の活動の在り方を慎重に考える必要がある。そこで、2022 年度は、将来に向けた新たな方策を改めて検討することにしたい。

1） GEDA 活動戦略会議（仮称）の設置

これまでも、活動戦略会議が設けられ、提言がその後の活動に役立てられたが、上記で述べたように、ジェネリック医薬品に関する社会的状況を背景に GEDA が進める意義ある施策は何かを改めて議論し、方向性を定める。

委員は会員歴の長短を織り交ぜて理事会で選任する。

2) 2023 年度役員改選に向けての規約の整備（継続）

1) で方向づけられた施策を実行進めるために重要な役員体制を構築する目的で、役員選任に関する規約を整備する。なお、本件については、2023 年度総会時における役員改選に間に合うように、戦略会議に先行して検討する。

3) 各種委員会活動の見直しと活性化

これまでも、時機にあった課題に対する委員会設置されてきたが、現状ではその活動が必ずしも十分ではない。委員会の見直しと活性化を図る。

(3) 主な活動

1) ジェネリック医薬品の日の取り組み

前年度と同様・同規模で記念イベントを学士会館で開催する。

2) GEDA 年報の発行

前年度から繰り越した 2021 年版と 2022 年版を発行する。

3) 通常総会

総会後のイベントは、GEDA 内の勉強会企画として開催する。

公開企画は、ジェネリック医薬品の日記念イベントに注力する。

(4) 委員会

① 施策提言委員会

1) 2022 年度も引き続き「ジェネリック医薬品品質情報検討会」に渡邊理事長に出席いただき、必要な意見具申を行っていただくとともに、これらの品質情報につき会員、医療関係者、患者らに広く周知できるような方策を検討する。

2) ジェネリック医薬品メーカーの小林化工、日医工、長生堂製薬、共和薬品などが承認されてない方法で医薬品を製造していたとして薬機法違反に基づく業務停止などの行政処分を受けた。このことによりジェネリック医薬品のみならず先発医薬品を含めた医療用医薬品の供給不安が引き起り医療現場において混乱が生じている。本年 4 月の診療報酬改定ではジェネリック医薬品の普及割合をさらに引き上げ 90%以上を目標としている。このためジェネリック医薬品の信頼性確保と安定供給が喫緊の課題である。このことよりジェ

ネリック医薬品の信頼性を回復するためには、ジェネリック医薬品企業の法令遵守状況がカギになると考えられるため、企業において法令順守をどのように遂行しているのかを調査する。

3) 新たに発足した施策提言委員会において、企業の法令順守の向上の取り組みについて委員間で協議し施策提言をしてみたい。

② 普及啓発委員会

2022年度は、ジェネリック医薬品の信頼性を回復のための活動を検討する。

③ 外部連携・会員拡大委員会

2022年度は、セルフメディケーション推進協議会と協議し、厚生労働省、日本薬剤師会などが毎年主催する「薬と健康の週間」にあわせ国民向けの啓発イベント企画を検討する。使用者側からの働きかけを強化するために、これまで「ジェネリック医薬品の日」立ち上げに関わった健康保険組合等をとおして、会員として当協議会への入会（個人入会を含む）を勧誘する。

3. 予算

【別紙参照】

2. 2022年度予算（案）

編成方針

行動制限が相当緩和されることを想定

- ✓ イベントは集合開催の想定で編成する。
- ✓ 総会は集合開催とする。
- ✓ 他の各機関会議は原則集合開催とし、併せて Zoom、メールを活用する。

総合計

総収益	1,505,030 円
総費用	<u>2,755,600 円</u>
当期正味財産増減額	▲1,250,570 円
前期繰越正味財産額	4,131,362 円
次期繰越正味財産額	2,880,792 円

収益

合計 1,505,030 円

正会員 105,000 円 (21 名分)
 賛助会員 1,400,000 円 (8 社のうち 1 社は前年度に計上済みなので, 7 社分)
 その他 30 円 (受取利息)

費用

(1) 事業費用

合計 1,630,600 円

事業① 1,377,300 円

事業② 253,300 円

【事業別内訳】

① ジェネリック医薬品の普及およびその研究成果の啓発・宣伝・研修・振興等

- 印刷製本費：60 万円
 - ◇ 年報 1 回 25 万の 2 回発行：50 万
 - ◇ ジェネリック医薬品の日シンポの資料作成等：10 万
- 会議費：42 万円
 - ◇ ジェネリック医薬品の日シンポ等：40 万
 - ◇ 普及啓発委員会等：2 万
- 旅費交通費：132,000 円
 - ◇ ジェネリック医薬品の日シンポ：8 万
 - ◇ 普及啓発委員会等：52,000

科 目	主な使途	金額：円	前年実績
旅費交通費	GE の日シンポ、普及啓発委員会	132,000	58,510
会議費	GE の日シンポ、普及啓発委員会等	420,000	303,688
広報宣伝費	ニュースリリース、資料製作	50,000	0
諸謝金	GE の日シンポ	80,000	55,684
雑費		5,000	0
印刷製本費	年報 2 回、GE の日シンポ資料	600,000	299,901
通信運搬費		50,000	44,329
消耗品費	イベント等	5,000	4,028
事務用品費		5,000	4,438
支払手数料		300	220
予備費		30,000	0
合 計		1,377,300	770,798

② ジェネリック医薬品に関する国・自治体・関係 諸機関への提言活動等
 施策提言委員会を中心に、積極的な活動を行う。

科 目	主な使途	金額：円	前年実績
諸会費	関係団体	5,000	0
雑費		5,000	0
旅費交通費	施策提言委員会、調査活動	66,000	0
会議費	施策提言委員会	40,000	0
調査研究費	外部イベント参加	20,000	15,000
新聞図書費		30,000	28,600
消耗品費		2,000	0
通信運搬費		5,000	0
印刷製本費		10,000	0
諸謝金	総会講演会	50,000	0
支払手数料		300	110
予備費		20,000	0
合 計		253,300	43,710

(2) 管理費用

合計 1,125,000 円

科 目	主な使途	金額：円	前年実績
印刷製本費	総会、事務資料	25,000	22,635
消耗品費	総会	20,000	19,780
地代家賃		480,000	480,000
通信運搬費	総会	20,000	20,059
旅費交通費	総会、執行理事会、戦略会議、外部会議	264,000	6,089
会議費	総会、執行理事会、戦略会議、Zoom	230,000	17,971
広報宣伝費	ネット環境維持	60,000	93,741
交際接待費		5,000	6,264
支払手数料		1,000	935
予備費		20,000	
合 計		1,125,000	667,474

議案 3 役員の選任方法について

【別紙参照】

3. 役員選任細則（案）

新たに別紙のとおり役員選任細則を定める。

● 提案理由

役員（理事及び監事）の選任は総会事項であるが、それらの実施方法については文書化された規定は無く、理事会の裁量で慣例的に行われてきた。この機会に実施方法を細則として定めて、明確で一貫性のある選任プロセスを確立することとした。細則は、理事長及び副理事長の互選方法についても規定している。

● 要点

- ① 役員候補者選考委員会（以下「選考委員会」という）を設置する。
- ② 選考委員会の委員の過半数は現職役員ではない者でなければならない。
- ③ 選考委員会は、自薦他薦を問わず正会員から選考対象者を募集する。
- ④ 選考委員は選考対象者になることはできない。
- ⑤ 理事会は、選考委員会が選出した役員候補者の名簿を総会に付議する。
- ⑥ 総会は無記名の信任投票を行い、役員を選任する。
- ⑦ 理事長及び副理事長は新た理事を選任した総会終了後に開催する理事会で理事の互選により選任される。

議案 4 監事の補充選任

本総会で退任する山本典男監事の後任として、正会員の原三千雄氏を監事に選任する。

議案 5 次年度総会開催日

2023 年 5 月 30 日（火）

任期満了に伴う役員改選を行う。

6. 閉会あいさつ

花岡一雄副理事長より。

以上

法人名： 特定非営利活動法人 ジェネリック医薬品協議会

別紙1-1

活動計算書

2021 年 4 月 1 日 ～ 2022 年 3 月 31 日 まで

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	50,000	
賛助会員受取会費	1,600,000	1,650,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	2,000,000	
		2,000,000
3. 受取助成金等		
受取公的助成金	0	
		0
4. 事業収益		
事業収益	0	
		0
5. その他収益		
受取利息	38	
雑収益	0	38
経常収益計		3,650,038
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
役員報酬		
給料手当		
福利厚生費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
通信運搬費	44,329	
印刷製本費	299,901	
消耗品費	4,028	
旅費交通費	58,510	
諸謝金	55,684	
会議費	303,688	
支払手数料	330	
調査研究費	15,000	
事務用品費	4,438	
新聞図書費	28,600	
その他経費計	814,508	
事業費計		814,508
2. 管理費		
(1) 人件費		
役員報酬		
給料手当		
法定福利費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
通信運搬費	20,059	
地代家賃	480,000	
印刷製本費	22,635	

(単位:円)

科 目		金 額	
消耗品費	19,780		
旅費交通費	6,089		
会議費	17,971		
支払手数料	935		
交際接待費	6,264		
広報宣伝費	93,741		
その他経費計	667,474		
管理費計		667,474	
経常費用計			1,481,982
当期正味財産増減額			2,168,056
前期繰越正味財産額			1,963,306
次期繰越正味財産額			4,131,362

法人名： 特定非営利活動法人 ジェネリック医薬品協議会

貸借対照表

別紙1-2

2022 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	4,131,362		
流動資産合計		4,131,362	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			4,131,362
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,963,306	
当期正味財産増減額		2,168,056	
正味財産合計			4,131,362
負債及び正味財産合計			4,131,362

法人名： 特定非営利活動法人 ジェネリック医薬品協議会

財産目録

別紙1-3

2022 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	23,364		
預金	4,107,998		
流動資産合計		4,146,472	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			4,131,362
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			4,131,362

特定非営利活動法人ジェネリック医薬品協議会

予算実績対比表

2021年度

期首 2021年4月1日

期末 2022年3月31日

別紙 1-4

(xx): マイナス

2021年予算				2021年実績			対予算実績率
I 経常収益							
受取会費	正会員受取会費	25,000	前年度計上75,000円	50,000			200%
	賛助会員受取会費	1,400,000	前年度計上20万円	1,600,000			114%
	受取会費計	1,425,000		1,650,000			116%
受取寄付金	受取寄付金	0		2,000,000			予算なし
	資産受贈益	0		0			
	施設等受入評価益	0		0			
	受取寄付金計	0		2,000,000			予算なし
受取助成金等	受取民間助成金	0		0			
	受取国庫補助金	0		0			
	受取助成金等計	0		0			
事業収益	普及啓発	0		0			
	研究提言	0		0			
	事業収益計	0		0			
その他収益	受取利息	20		38			190%
	雑収益	0		0			
	仮受金	0		0			
	借入金	0		0			
	その他収益計	20		38			190%
経常収益計				1,425,020		3,650,038	256%
II 経常費用							
事業費							
(1) 人件費							
	給与手当	0		0			
	福利厚生費	0		0			
	人件費計	0		0			
(2) その他経費							
1) ジェネリック医薬品の普及、およびその研究成果の啓発・宣伝・研修・振興等の事業							
	旅費交通費	40,000	集合イベント1回、講師活動	58,510			146%
	会議費	200,000	イベント(オンライン・集合各1回)、3委員会	303,688			152%
	広報宣伝費	50,000	ニュースリリース1回、資料製作	0			0%
	諸謝金	80,000	イベント2回	55,684			70%
	雑費	20,000		0			0%
	印刷製本費	500,000	年報2回、イベント資料等	299,901			60%
	通信運搬費	30,000		44,329			148%
	消耗品費	10,000	イベント等	4,028			40%
	事務用品費	0		4,438			予算なし
	支払手数料	0		220			予算なし
	予備費	100,000		0			
	1)計	1,030,000		770,798			0%
2) ジェネリック医薬品に関する国・自治体・関係 諸機関への提言活動等の事業							
	諸会費	5,000	関係団体	0			0%
	雑費	10,000		0			0%
	旅費交通費	50,000	調査活動	0			0%
	会議費	20,000	施策提言委員会	0			0%
	調査研究費	20,000	外部イベント	15,000			75%
	新聞図書費	50,000		28,600			57%
	消耗品費	10,000		0			0%
	通信運搬費	10,000		0			0%
	印刷製本費	10,000		0			0%
	支払手数料	0		110			予算なし
	予備費	100,000		0			
	2)計	285,000		43,710			0%
	その他経費計	1,315,000		814,508			0%
事業費計				1,315,000		814,508	62%
管理費							
(1) 人件費							
	給与手当	0		0			
	法定福利費	0		0			
	人件費計	0		0			
(2) その他経費							
	印刷製本費	30,000	総会、事務資料	22,635			75%
	消耗品費	10,000		19,780			198%
	地代家賃	480,000		480,000			100%
	通信運搬費	20,000	総会	20,059			100%
	雑費	20,000		0			0%
	旅費交通費	40,000	会員拡大、外部会議	6,089			15%
	事務用品費	10,000		0			0%
	会議費	80,000	Zoom料金、会議運営、委員会	17,971			22%
	広報宣伝費	60,000	ネット環境維持	93,741			156%
	交際接待費	0		6,264			予算なし
	支払手数料	3,000		935			31%
	予備費	100,000		0			
	その他経費計	853,000		667,474			0%
管理費計				853,000		667,474	78%
経常費用計				2,168,000		1,481,982	68%

当期正味財産増減額	(742,980)
前期繰越正味財産額	1,963,306
次期繰越正味財産額	1,220,326

2,168,056	2,911,036
1,963,306	0
4,131,362	2,911,036

対予算増減額

監 査 報 告 書

我々は、特定非営利活動促進法第 18 条及び特定非営利活動法人ジェネリック医薬品協議会定款第 14 条 4 項の規定に基づき、特定非営利活動法人ジェネリック医薬品協議会の 2021 年度（2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで）の事業報告及び計算書類（活動報告書、貸借対照表、財産目録及び予算実績対比表）について監査を行った。

作業は新型コロナウイルス感染拡大抑制のために外出や会合を控える必要がある状況を鑑み会合せず、リモートで行った。事業報告の内容について確証を得るためには電話やメールで理事の説明等を求めた。また、経営の状況及び財産の状況に関する監査に当たっては、文書の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行った。

監査の結果、法人の業務は法令、定款及び 2021 年度の活動方針、事業計画、予算に基づき適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されているものと認められた。

よって、我々は、上記の事業報告及び計算書類が、特定非営利活動法人ジェネリック医薬品協議会の 2022 年 3 月 31 日をもって終了する事業年度の業務執行の状況、経営の状況及び同日現在の財政状態を適正に表示しているものと認める。

2022 年 4 月 24 日

特定非営利活動法人ジェネリック医薬品協議会

監 事 横尾 佑一



監 事 山本 典男



2022年度予算（案）

期首 2022年4月1日
期末 2023年3月31日

別紙 2

(x x) : マイナス

2022年度予算				2021年度実績			対前年増減率
I 経常収益							
受取会費	正会員受取会費	105,000		50,000			210%
	賛助会員受取会費	1,400,000	前年度計上20万円	1,600,000			88%
	受取会費計	1,505,000		1,650,000			91%
受取寄付金	受取寄付金	0		2,000,000			
	資産受贈益	0		0			
	施設等受入評価益	0		0			
	受取寄付金計	0		2,000,000			0%
受取助成金等	受取民間助成金	0		0			
	受取国庫補助金	0		0			
	受取助成金等計	0		0			
事業収益	普及啓発	0		0			
	研究提言	0		0			
	事業収益計	0		0			
その他収益	受取利息	30		38			79%
	雑収益	0		0			
	仮受金	0		0			
	借入金	0		0			
	その他収益計	30		38			79%
経常収益計				1,505,030	3,650,038		41%
II 経常費用							
事業費							
(1) 人件費	給与手当	0		0			
	福利厚生費	0		0			
	人件費計	0		0			
	(2) その他経費						
1) ジェネリック医薬品の普及、およびその研究成果の啓発・宣伝・研修・振興等の事業							
	旅費交通費	132,000	GEの日シンポ、普及啓発委員会	58,510			226%
	会議費	420,000	GEの日シンポ、普及啓発委員会	303,688			138%
	広報宣伝費	50,000	ニュースリリース、資料製作	0			前年実績なし
	諸謝金	80,000	GEの日シンポ	55,684			144%
	雑費	5,000		0			前年実績なし
	印刷製本費	600,000	年報2回、GEの日シンポ資料	299,901			200%
	通信運搬費	50,000		44,329			113%
	消耗品費	5,000	イベント等	4,028			124%
	事務用品費	5,000		4,438			113%
	支払手数料	300		220			136%
	予備費	30,000		0			前年実績なし
	1) 計	1,377,300		770,798			179%
2) ジェネリック医薬品に関する国・自治体・関係 諸機関への提言活動等の事業							
	諸会費	5,000	GEBS学会1名	0			前年実績なし
	雑費	5,000		0			前年実績なし
	旅費交通費	66,000	施策提言委員会、調査活動	0			前年実績なし
	会議費	40,000	施策提言委員会	0			前年実績なし
	調査研究費	20,000	外部イベント参加	15,000			133%
	新聞図書費	30,000		28,600			105%
	消耗品費	2,000		0			前年実績なし
	通信運搬費	5,000		0			前年実績なし
	印刷製本費	10,000		0			前年実績なし
	諸謝金	50,000	総会講演会	0			前年実績なし
	支払手数料	300		110			273%
	予備費	20,000		0			前年実績なし
	2) 計	253,300		43,710			580%
	その他経費計	1,630,600		814,508			200%
	事業費計	1,630,600		814,508			200%
管理費							
(1) 人件費	給与手当	0					
	法定福利費	0					
	人件費計	0		0			
	(2) その他経費						
	印刷製本費	25,000	総会、事務資料	22,635			110%
	消耗品費	20,000		19,780			101%
	地代家賃	480,000		480,000			100%
	通信運搬費	20,000	総会	20,059			100%
	旅費交通費	264,000	総会、執行理事会、戦略会議、外部会議	6,089			4336%
	会議費	230,000	総会、Zoom料金、執行理事会、戦略会議	17,971			1280%
	広報宣伝費	60,000	ネット環境維持	93,741			64%
	交際接待費	5,000		6,264			80%
	支払手数料	1,000		935			107%
	予備費	20,000		0			前年実績なし
	その他経費計	1,125,000		667,474			169%
	管理費計	1,125,000		667,474			169%
経常費用計				2,755,600	1,481,982		186%

当期正味財産増減額	(1,250,570)
前期繰越正味財産額	4,131,362
次期繰越正味財産額	2,880,792

2,168,056	対前年増減額
1,963,306	(3,418,626)
4,131,362	2,168,056
	(1,250,570)

役員選任細則(案)

役員選出方法等検討委員会

(目的)

第1条 本細則は、定款に基づく理事及び監事（以下、役員という）の選任、ならびに理事長及び副理事長の互選に必要な事項を定めることを目的とする。

第1章 役員候補者選考委員会

(役員候補者選考委員会の設置)

第2条 理事会は、役員候補者を選出するため、役員候補者選考委員会（以下「選考委員会」という）を設置する。

2 選考委員会は、4名以上8名以下の選考委員（以下「委員」という）により組織する。委員の過半数は現職役員ではない者でなければならない。

3 委員は、原則として3年以上の会員歴を有する正会員で、理事会によって選任された者とする。

4 選考委員会の委員長は、委員の互選とする。

(選考委員会の招集)

第3条 委員長は必要に応じて選考委員会を招集する。

2 選考委員会は、委員総数の過半数の出席がなければ開催することができない。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、総会による役員の選任が完了するまでとする。

(役員候補者選考方法)

第5条 選考委員会は、自薦他薦を問わず正会員から選考対象者を募集する。ただし、委員は選考対象者になることはできない。

2 選考委員会は、出席委員の過半数の賛成により役員候補者を選出する。役員候補者本人の同意を得た後、役員候補者名簿を作成し、理事会に提出する。

3 選考委員会は、定款に定める役員排除規定に抵触する者は選考対象としない。

(総会への役員候補者案の提出)

第6条 理事会は、選考委員会の役員候補者選出が適正に行われたことを確認したうえで、選考委員会が選出した役員候補者名簿を総会に付議する。

第2章 役員の選任

(選任方法)

第7条 総会は、理事会から付議された個々の役員候補者について無記名の信任投票を行う。

2 信任投票は、正会員総数の過半数の参加により成立し、投票参加者総数の過半数の信任を得た役員候補者を役員に選任する。

3 投票参加者総数の過半数の信任を得た役員候補者数が定款に定める役員定数に満たない場合は、役員定数規定を満たすまで前項規定の手続きを繰り返す。

4 投票参加者総数の過半数の信任を得た役員候補者数が定款に定める役員定数上限を越えている場合は、信任の多い役員候補者順に、定数上限以内で選任される。定数上限に達する前の、最後に選任された者の次に多く信任を得た役員候補者が複数いて、その全員を選任すると定数上限を越えてしまう場合は、その中から、定数上限に達するまでの人数の役員候補者を抽選で選任する。

第3章 理事長及び副理事長の互選

(理事会の開催)

第8条 新たな理事を選任した総会終了後、理事長及び副理事長を互選するための理事会を、すみやかに開催する。

2 この理事会の議長は、前理事長が暫定議長として、新たな理事長及び副理事長が互選により選任されるまで務める。

(互選方法)

第9条 理事長及び副理事長は、第8条により開催され成立した理事会で、参加者総数の過半数の信任を得て互選される。

(会員への報告)

第10条 新たな理事長は、新たな理事長及び副理事長の氏名を、総会后遅くとも2週間程度以内に全会員に報告する。

(雑則)

第11条 本細則の施行について必要な規定は、理事会の議決を経て、理事長がこれを定める。

(施行)

第12条 本細則は、2022年6月1日から施行する。